

（男の子になりたい×ジェンダーメイド）

（嫌そうな感じで）主人様に性処理を命じられる）

（やや右・近）

ご主人様…

また、性処理奉仕ですか？

はあ…

言われなくたって、

わかりますよ。

そうやって、

僕の前で、

ガチガチに立てた、

うわぞりのデカペニスを、

突き出して、

ゴシゴシ、ゴシゴシ、ゴシゴシ。

僕に見せつけるように、

一人でマスクイエッチして、

僕の反応を楽しみながら、

ズリズリ、ズリズリ、ズリズリと、

卑猥な音を立てて、

僕に強要して、

来てるじゃないですか。

（左・密着）

（復唱する感じで）

今すぐ、

ちんぽシコレ、

ちんぽシコレ、

このガッチガチになって

亀頭もズルムケになったエロちんぽ。

メイドの手まんどで、

シコリまくって、  
射精、

しっかり面倒見ろって。

高給で雇い入れたメイドに  
性処理を、

強要して来てるじゃないですか。

（左・中）

そうやって僕の嫌がる顔で  
マスターベーションが出来ちゃうって、  
人としてどうかと思いますけど。

（やや右・近）

あと、

前から言ってますけど、

僕は体は女でも、

心は男の子なんですから。

そんなものいくら見せられても、  
恥ずかしがったりは、しませんよ。

朝起こしに着たメイドの前で、  
ペニスを丸出しにして、

朝立ちに便乗した

モーニングマスターベーションを  
メイドに見せつけて…

その反応を見ながら、  
シコシコ、シコシコ、シコシコ。

朝から元気なのは、  
いいことですけど…

嫌がられながら、

オナニーをするのが

大好きなのは、いけない事ですよ  
ご主人様。

さっきも言いましたけれど、

僕は心は男なんですから、

そんなものを、

見せつけられても、

（やや右・近）

（復唱する感じで）

ああ、こいつバカだな、

雇ったメイドの前で、

勝手にちんぽ出して、

ゴシゴシして、

それで射精するなんて、

気持ち悪いなあ、きもいなあ、

としか思ってませんからね。

そんなものを、

いくら見せつけられたって、

エロい気持ちに、

なるわけじゃないですか。

ここでメイドやっているのだって、

僕の心と体を一致させる

手術費用を稼ぐために、

高給な報酬でメイドとして

雇われている、だけなんですからね。

もちろん、

性処理の仕事も

契約内容に入っていましたから、

できる限りのことは、

してあげますけど…

僕は心が、男なんですから。

普通の、

女の子の反応なんて、  
できませんよ

(左・中)

(復唱する感じで)

はぁ

、顔は可愛いんだけど、  
もったいないな…

おちんぼオナニーの、  
オカズには使えるけど、  
男になりたいなんて、  
どうかしてる…ですか。

(やや右・近)

まあ、

ご主人様には  
わからないと思いますけど、  
心と体が一致しないって、  
結構つらいことなんですよ？

そうやって、好き勝手に  
自分のペニスを握り締めて、  
メイドの前でゴシゴシ、ゴシゴシ、ゴシゴシ。

楽しそうに男性やってる、  
ご主人様には、  
わからないと思いますけどね。

(中・密着)

っていうか…  
人が真剣な話してるのに、  
なに手の速度、  
上げちゃってるんですか？

はぁ、

僕の顔が綺麗で、

悩んでいる顔、

オナニーのオカズに最高ですか。

「とんだキモちゃんぽ野郎ですね」、ご主人様は。

(やや右・近)

ほら、

そんなに早くシコれてるんだったら、

メイドの手伝いなんて、

いらないですよね。

勝手にセルフマスターベーションで、

射精していただけると、

楽でいいですけど、

そういうわけにはいきませんか？

はあ、お金で雇ってるメイドに

ちゃんぽシコらせて、

手まんこの中で、

モーニング射精したいから、

早くシコれ、

早くシコれ、早くシコれって…

速度上げて、

自爆しそうなちゃんぽ…

メイドに手まんこを、

強要して、本当に気持ち悪いですね。

(右・近)

ほら、

やってあげますから。

一人マスターベーションやめて、

おちんぽ貸してください。

どうせ射精するまで

絶対に、

終わらないんですから。

ほら、

早くおちんぼシコるから、  
貸してください。

ふう、  
もうガッチガチにそびえ返って、  
スケベなにおいさせてる…  
エロちんぼ。

皮もズルムケになって、  
亀頭パンパンにして、

メイドに今から、  
シコられるからって、  
ヒクヒクしながら、  
期待している  
嫌味なエロちんぼ…  
本当に嫌いです。

(中・密着)  
ほーら、  
痛くないように唾をかけてあげてゝ  
(つばをチンポに吹きかける音)  
んっ、ほら、  
唾をかけてあげましたから、

僕の唾ローション使って、  
ご主人様のこの  
ナルシストな一物を、  
シコりますよ。

(右・密着)  
(ききやき声で)  
ほーらシコシコ、  
シコシコ、シコシコ。  
心は男性のメイドさんに  
おちんぼシコらせて、

シコシコ、シコシコ、シコシコ、

仮が膨らんだ、

興奮しっぱなしのエロちゃんぽ。

メイドの手まんなで

シコシコ、シコシコ、シコシコ。

(緩急漬けてシコシコ10

)

ほーら、

次はもっと、

手まんこの穴ちっちゃくして

ちゃんぽシコりますから、

イキたかったら、

さっさとイって下さい。

僕はこれから、

別のお仕事あるんですから、

ご主人様のエロ奉仕ばかり、

やっている

時間はないんですから。

この性欲丸出しの、

ガチガチおちゃんぽ、

さっさとシコられて、

イっちゃって下さい？

ああ…脈打って、

メイドの手まんなで、

おいしい、おいしい、おいしいって、

朝から迷惑なおちゃんぽ、

シコシコ、シコシコ、シコシコ。

ああ、そうですか。

気持ちいいですか…

僕はとっても不快ですけど。



はい？

なんですか？

（左・中）

（復唱する感じで）

どうだ、

ちんぽついてて、

うらやましいか、

お前が欲しくて、

大好きなちんぽ

シコれて嬉しいだろうって…

相当やかましいですね。

（中・近）

ほーら、

シコってる手とは逆の手で、

金玉をギュって、

握ってあげてますよ？

ほら、ほら、ほらー！。

メイドさんに、

いやがらせしてくる、

ゲスな金玉は、

つぶしてあげましょうか。

ほら、ほら、ほらー！。

そうやって、

僕の嫌な顔を見て、

おちんぽを、

おったてるオカズにして、

いやがらせしながら、

気持ちよくなれる、

ゲスな性癖、

本当に嫌いです。

ご主人様の、

この無駄にデカいちんぽも

嫌い、嫌い、嫌い、大嫌いです。

高給で雇われなかったら、

絶対にこんな気持ち悪いちんぽの

性処理なんて、

死んでもごめんです。

僕は手術して、

おちんぽつけてもらっても、

ご主人様みたいな、

ゲスな人間には、

絶対、絶対、ならないですから。

だからほら、

メイドに金玉握られて、

ちんぽ竿をズリズリ、ズリズリ、ズリズリ。

必死にシコってあげてるんですから、

ほら、

射精してください、

射精してください、

射精してください。

そのガッチガチに勃起して

メイドに嫌がらせするのが、

大好きな

クズ性癖ちんぽから、

ザーメンひねり出して、

射精してください。

（右・密着）

（ききやき声で）

ほら、

イけ、イけ、イけ、イけ。

心が男性のメイドさんに、  
強制的に性処理して、  
それで気持ち良くなってる、  
ゴミセクハラおちんぼから、  
ほら、

ゴミザーメン  
さっさと、

吐き出してください。

もうヒクついて、  
射精寸前のおちんぼ。

メイドの手まんこの輪っかを  
すくく、

ちっちゃくして、  
ほーら亀頭だけ、  
ゴシゴシ、ゴシゴシ、ゴシゴシ、ゴシゴシ。

射精するように  
追い込んであげてるんですから、  
さっさとザーメン漏らして  
僕を開放してください。

(息を吹きかけながら)  
ほら、イけ、イけ、イけ。

僕が大嫌いな、  
ご主人様のちんぼ、  
ほらイけ、  
ほらイけ、ほらイけ。  
3、2、1。

ほら、  
僕の手まんこの中で、漏らせ！

ああ…

ぴゅっぴゅ、ぴゅっぴゅ、ぴゅっぴゅ。

(やや右・近)

朝だっていうのに…

僕の手まんこから

あふれ出ちゃうくらいなの、

ザーメン飛ばして、

僕に不快な思いを、

させながらする射精は、

気持ちいいですか？

ご主人様。

そうですか、

とっても気持ちよくて、

よかったですか？

はい、僕の主人様のちんぽに

喜んでもらえて、

反吐が出るくらい、

うれしいです

(中・近)

ほら、

拭いてあげますから、

そのままにして、

動かないでください。

(中・密着)

よいしょ、よいしょ…

射精したばかりの、おちんぽ…

ひくひくして、気持ちよきそうですね

男性は、これで好き勝手できて…

その点は、うらやましいです

（やや右・近）

ふう、

今日もキモい性処理奉仕、  
終わりましたね。

人のこと便利な、

性処理ゴミ箱にして、

人の気持ちなんて、

一切考えない

ちんぼ奉仕、

本当に最低です、ご主人様。

（右・近）

ほら、ご主人様の汚いDNAが

こびりついたチリ紙は、

ゴミ箱にポイとして…

じゃーあ、

僕は他の仕事がありますから

行きますけれど、

次はなるべく

一人でやっていただけると、

助かります。

ご主人様のちんぼ、

僕は大嫌いなんですから。

今度からできるだけ、

一人で処理してくださいね、

ご主人様。

（中・近）

（肩もみをしている）

ふう、

よいしょ、よいしょ、よいしょ。

どうですか、

ご主人様。

忙しいメイドの時間を、  
使って、

嫌々ながらされる、  
肩もみはどうですか？

（左・中）

（復唱する感じで）

はあ、

とっても気持ちいい…

ああ、

もっと上のところもよろしくねって。

（やや右・近）

ふう、

僕はご主人様が気持ちよくても  
全然嬉しくないです。

一緒に空間にいるのも  
基本的に嫌なんですから  
さっさと開放してください。

はあ、

怜雄（レオ）ちゃんはどうして  
男になりたいんだって。

怜雄（レオ）ちゃんというのは  
やめてくださいいますか、  
ご主人様。

僕のごとは、

怜雄か、

怜雄くんをお願いします。

そうですね…

きっかけは男性のように

自由に生きたいと、

思ったことでしょうか。

女性とは、

何かとめんどくさいことが多いですし、

男性は、

自由そうでいいじゃないですか。

まあ、ご主人様みたいに、

メイドに嫌がらせをしながら、

性処理をさせるなんていうのが、

好きな自由人は、

目指してませんけどね。

あとはそうですね。

自分の声や体が女性的であること、

だんだん違和感を持つようにな

ったことでしょうか。

膨らんだ胸と、

丸くなった体を見て、

本当にこれが僕なのかって…

違和感が、

どんどん大きくなってきて。

気が付いたら、

男性になることが、

目標になっていました。

まあ、ご主人様のように、

ペニスでしか、

物事を考えられないような

低能な方には、

難しい話だったかも、しれませんが

ほら、

次は頭を揉んでくれって……

怒らないんですね。

寛容なところは、

いいですね

(中・近)

ほら、

よいしょ、よいしょ、よいしょ。

少しは低能な頭も、

良くなれ、

良くなれ、良くなれ。

よいしょ！

ふう……

それでご主人様、

先ほどからツツコむのも嫌で、

目をそらしていましたけど、

そろそろ限界です。

何でメイドに、

マッサージされて、

ちんぽそんなにガッチガチに

大きくしてるんですか…

ズボンの上から、

見てもわかりますよ。

あと、先ほどから

マッサージの気持ちよさだけでなく、

別の声も混じっていましたよね。

このちよつと、

耳につく機械音も

気になっていましたし…



真面目に、

お付き合いでするのも  
疲れてきましたから、  
もう宜しいですか？

（右・近）

（ご主人様のシリ穴に、エロい道具が入っていてドン引き）

ああ、

ズボンとパンツを一気に下ろして、

ガッチガチになったちんぽと、

それは……

お尻に何か、

道具が入っていますね。

オスのくせに、

お尻に何入れてるんですか、

「ごの変態」

え？

男性用のアナルバイブ入れて、

自動で動くの楽しんだ？

もう射精しそうだから

手伝ってよ怜雄（レオ）君……って。

（やや右・近）

いや、無理、無理、無理、

最高に気持ち悪いです、

ご主人様。

男性なのに自分でケツ穴に

そんなものを入れて、

セルフマスターベーションで

気持ちよくなっているご主人様なんて、

僕絶対無理です。

（左・中）

（復唱する感じで）

はあ、

性処理も、

お給金に入っているよね。

もしやらなかったら手術代、

稼げなくなっちゃうよ…って言って

おちんぼ膨らませながら、

僕をなだめないでください

わかりました、

やればいいんでしょう？

ご主人様のゴミ性癖に付き合って、

そのガッチガチになってる、

おちんぼから

射精させればいいんでしょう？

（中・近）

はあ…

ほら、

早く貸してください。

おちんぼ手でシコって

射精させて、

終わりにしますから。

（中・近）

ほら、

ゴシゴシ、ゴシゴシ、ゴシゴシ。

メイドにマッサージしながら、

一人マスターベーション楽しんでた

ゴミ性癖の変態ご主人様のちんぼ、

ゴシゴシ、ゴシゴシ、ゴシゴシ。

ほら、キモイ性癖ちゃんぽ、早く、

射精しろ！

射精しろ

（緩急漬けて、シコシコ連呼 10 秒）

（左・中）

（復唱する感じで）

はぁ！

ちゃんぽもいいけど

こっちもよろしく…って。

何ケツ穴、

僕に向けてきてるんですか。

本当に気持ち悪いですね。

ほら、

そういう趣味でしたら

さっさと終わらせてあげますから。

（右・近）

ほら、ケツに入った

キモバイブを手でつかんで、

ほら、

ズボズボ、ズボズボ、ズボズボ。

ちゃんぽとケツまんこ、

両方とも刺激されて、

何メスみたいな声、

出してるんですか？

心が男の僕に、

こんな情けない性癖見せつけて、

恥ずかしくないんですか？

ご主人様。

(中・密着)

(きき声で)

ほら、

おちんぼとケツまんこ、

両方とも気持ちよく、

ゴシゴシ、ズリズリ、

ゴシゴシ、ズリズリ、

刺激してあげてるんですから、

さっさとイって下さい。

オスなのにケツまんこで

気持ちよくなれるような変態は、

メイドにケツバイブを、

一番奥まで入れられて、

ほら負けちゃえ、ほら負けちゃえ。

僕に性欲処理させる、

キモーいご主人様は、

ケツまんこ飛ばして、

早くイっちゃえ。

ほら、ほら、ほら。

ここがいいんでしょう？

ご主人様のケツ穴の一番奥。

オスのスポットを、

ズボズボ、ズボズボ、

ズボズボしてあげてますから、

早くイっちゃってください。

はあ、今どう思っているかですか？

(右・密着)

とっても、

最低な気分ですよ！

（やや右・近）

男性とか女性とか関係なしに、  
他人のケツ穴を、  
見せつけられながら、  
卑猥な道具を手でつかんで、  
ズボズボ、ズボズボ、ズボズボ、  
出し入れする感覚は、  
とっても気持ち悪いです。

（やや右・近）

ほら、  
僕が嫌がる顔をオカズにしながら  
ケツまんこ飛ばして、  
早くイっちゃえ、  
早くイっちゃえ、早くイっちゃえ。  
イケイケ、イケイケ！

おちんぼはもうこのまま  
シコってあげませんから、  
ケツマンだけで射精して、  
無様な姿を僕に見られながら、  
ほらそれで、  
射精しちゃえ、  
射精しちゃえ。  
射精しちゃえ。

ほら、イケイケイケイケ、  
イケイケイケイケ、イケ！  
ほら、出せ、出せ、出せ！

（右・密着）

（ききやき声で）  
ああ、ケツまんこ、  
痙攣させて、  
道具を締め付けながら、  
全身ビクビク、ビクビク、  
ビクビクって痙攣しながら、

触ってもないちんぽから、  
あゝ出てる、出てる、出てる。  
ちんぽの先っぽから  
情けなしいトロトロ射精、  
ぴゅっぴゅ出て、  
とっても気持ち悪いですね、  
ご主人様！

人として軽蔑します。

(やや右・近)

まったく、

こんなことでしか

気持ちよくなれないなんて、

どうかしますよ、

ご主人様。

(やや右・近)

ほら、

お片づけは自分でやってください？

ご主人様の広がったアナルなんて  
見たくもないですから。

自分でそれ抜いて、

自分でお掃除してくださいね。

ふう、

僕はあんな変態に

付き合わなきゃいけないなんて、

本当にやってられない。

(街中で)ご主人様とデートの待ち合わせ)

(右・遠)

はあ、ご主人様。

別にそんなに待ってませんけど…

ふう

街中で会っても、

ご主人様は

やっぱりイマイチ、

パツとしませんね。

こう、何というか、

残念なオーラが、

ものすごい出ています。

お金貰ってなきや、

ご主人様と一緒に

街中を歩きたいなんて、

絶対、思いませんよ。

というか、

会った瞬間に、

なんでそんなに

残念そうな顔するんですか？

(左・中)

(復唱する感じで)

はあ、

僕が男の格好しているから、

せつかくのデートなのに、

「心折れた」ですか。

(やや右・近)

前から言っていたじゃないですか。

僕は心は男なんですから、

服装だって、私服は男性服ですよ。

屋敷でのメイド服みたいに  
女の子やっている、  
時間なんて、  
プライベートでは、  
ほとんどないんですから。

ほら、

ご主人様が、  
今流行りのパパ活  
やってみたっていうから、  
いやいや付き合って、  
あげてるんですから、  
さっさとデート行きますよ。

(二人で街中を歩く)

(右・近)

ほら、

ご主人様、見てください？

僕のこと、

周りはしっかり

男だって認識してくれていますよ。

ご主人様の隣で歩いて、  
ただの男友達としか、  
見られないこの雰囲気、  
ふふっ、とっても心地よいです。

お屋敷で、  
メイドなんかやっているよりも、  
やっぱり僕は男として  
生きている時間のほうが、  
すごく充実しています。



(右・遠)

あっコラ、

ご主人様、人の手を取って、  
どこに行く気なんですか…

つて、ハッ)……

女性ものの

ファッションブティックじゃないですか。

しかも結構、

お高めな有名どころ…

なんで僕をこんなところに  
連れてきたんですか。

(左・中)

(復唱する感じで)

はあ、

今から服買ってやるから  
着替え直せ、ですか。

男とデートなんかしたくないから、  
さっさと着替えて

ちゃんとした、

デートやり直そうって。

(やや右・近)

(本気で嫌がって怒る)

嫌ですよ、ご主人様

僕は男なんですから、

プライベートまで、

女物の服なんて

絶対着たくありません。

そんな事、いうのであれば  
僕は帰ります！

(中・近)

あ、コラ、コラ。

何で人のこと試着室

引っ張っていくんですか。

はあ…

(左・中)

(復唱する感じで)

もし逆らうんだったら、

ここでちんぼしゃぶれですか。

こんな、いつ人が来るかも

わからないところで、

ご主人様のちんぼ

しゃぶれっていうんですか。

人の嫌なものを押し付けて、

それで金を、

払ってるのをいいことに、

好き勝手やって、

本当に最低ですね。

(中・近)

ほら、じゃあズボンと、パンツ脱がせますよ？

何意外な顔してるんですか。

しゃぶれって言ったのは、

自分じゃないですか。

女性になることを、

強制させるぐらいなら

いつもお屋敷でも、

断っているちんぼしゃぶり、

この場でしてあげますよ、

「このクソご主人様」

ほら、

ズボンとパンツ一気に脱がして…  
萎え萎えのこのクソちんぽ。

(中・密着)

(フェラしながら)

ほら、

口まんこでしゃぶって…

ほら、ほら、ほら、ほら。

(フェラ 5秒)

気持ちいいですか？

気持ちいいですか？

嫌がるメイドにちんぽしゃぶらせて、

それで気持ちいいですか？

(フェラ 5秒)

自分の心を、

否定されて、

こんなクソちんぽの、

面倒見せられてる

かわいそうなメイドの、

ちんぽしゃぶりは、

気持ちいいですか？

(フェラ 5秒)

(フェラここまで)

(右・近)

気持ちよく、

ないわけないですよね。

ちょっと口まんこに、

ちんぽ入れて、

ズボズボしただけで、

ちんぽもうガッチガチになって、

興奮してるじゃないですか。

ほら、

誰が来るかわからない更衣室で、  
オスの格好した僕に、  
ちんぽしゃぶられて、  
はやく、いってくださいよ

(中・密着)

(フェラしながら)

ほら、ほら

(フェラ 10秒)

嫌がる僕の口まんに、  
ちんぽ出し入れして、  
それで興奮して、  
最低、最低、最低。

最低って言われて、  
何ちんぽ引くつかせて  
気持ちよくなっちゃってるんですか。  
ほら、

ほら、ほら、ほら、ほら、ほら、ほら。

(フェラ 5秒)

どうしたんですか？  
竿だけじゃイけませんか？

じゃあほら、

このパンパンに腫らした  
金玉も口の中に入れて、  
しゃぶってあげますよ。

ほら、

おしゃぶり、

おしゃぶり、

おしゃぶり、

(フェラ 3秒)

知ってますよ、ご主人様。

三日間オナ禁して、

射精耐えてましたよね。

頑張って精子溜めまくって、

デートの終わりに

何するつもりだったんですか？

ほら、ほら、ほら。

パンパンになった金玉、

メイドがオスの格好しながら

口マンコに入れて、

しゃぶりつけていますよ。

こんなゴミちんぽ、

しゃぶるの、

絶対に嫌なのに、

いやいや、ちんぽしゃぶってゝ

ご主人様の金玉に、

ご奉仕してあげます。

ほら、ほら、ほらー。

ドスケベな音響かせて、

周りに聞かれちゃうかもしれないのに、

おちんぽしゃぶり、

頑張ってあげてますよ

ふふっ。

ほら、金玉を口から抜いてゝ

負けそうになって引くついている

ご主人様のちんぽ竿。

ほーら、

奥まで

喉まんこの奥まで、

差し込んであげてますよ。

ほら、ほら、ほらー！

大嫌いなご主人様のちんぽ、

口マンにズリつけて、

喉の奥まで使いながら

射精させてあげようと、

してるんですから。

ほら出せ、ほら出せ、ほら出せ。

(フェラ 5秒)

出したらとつとど、

デート終わりにして

帰りますよ、このクソご主人様。

ほら、

出せ出せ、出せ出せ、出せ出せ。

男装した僕の口まんこの中で、  
中出しほら、

出せ出せ出せ出せ出せ出せ出せ出せ。

ほらいけ、ほらいけ、ほらいけ。

(ちんぽ、吸い付けながら長い音)  
いけええええええええ

(やや右・中)

ああゝ

出てる、出てる、出てる。

ほら、

このきつたないちんぽ精子  
全部飲んであげますから、  
金玉を握り締めて、  
残ってるのも全部出しますよ、  
ほら。

(中・密着)

よいしょ

(ザーメン飲む音長く)

(右・近)

ふう、

終わった、終わった。

大嫌いなご主人様との、  
クソデート、  
終わりましたね。

ほら、

スッキリしたら、  
もう帰りますよ。

どうせ、

男の僕なんかじゃ、

ご主人様は、

デートするの嫌でしょうから、  
さっさと帰りますよ、

ご主人様。

(中・近)

(レイプされる寸前の状況で)  
はぁ、今からセックスさせろ、  
男になるための手術費用を  
即金で全部払ってやるから、

今から僕のおまんこに、  
ちんぽ入れて、  
セックスさせろ…ですか。

（やや右・近）

（冷めて軽蔑している口調で）  
はぁ、

良いですけど、  
したかったら御自由に  
すればいいじゃないですか。

っていうか、

僕のことをベッドに押し倒して  
両手を掴んで、  
逃げられなくして、  
セックスさせろなんて、  
断れない状況にして、  
それでお願している  
つもりなんですか？

ご主人様。

これは立派なレイプですよ。

（中・近）

まぁ、  
したければ、  
すればいいじゃないですか。

どうせ使う予定もなかった、  
処女膜ですし、  
お金貰えるんだったら、  
手っ取り早いですから。  
さっさとちんぽ入れて、  
好き勝手に動いて、  
終わりにすれば、  
いいじゃないですか。



ほーら、

手が止まっていますよ  
スカートめくりあげて、  
男物のボクサーパンツ、  
脱いであげますから。

（やや右・密着）

ほーら、

入れたかったら

勝手に入れてくださいよ。

ご主人様が、

前から使いたがってた、

心は男の子の、

メイドのおまんこ

好き勝手に、

ちんぽ出し入れして

レイプセックス、

すればいいじゃないですか。

処女ですけど、

使う予定もなかったんですから、

お金貰えるんだったら、

ちんぽ

出し入れしていいですよ。

ほーら、

したかったらきつさと

すればいいじゃないですか。

（やや右・近）

なんですか？

僕の反応見て、

戸惑ってるんですか？

そんなこと、

ありませんよね。

僕が嫌がってる最中にも、  
おちんぼ上向きに、  
ガッチガチに固めて、  
もうレイプする気、  
満点じゃないですか。

もしかして、

僕が前から

ご主人様のこと好きで  
ご主人様に抱かれるの  
喜ぶと思ってたんですか。

とんだ勘違い野郎ですね、

ご主人様は。

僕はお金のために、  
自分の体を直すために、  
今からご主人様に、  
レイプされるんです。

ご主人様のその歪んだ性癖の  
はけ口にされるんですから、  
さっさとちんぼ入れて、  
射精したら、  
お金払ってくださいよ、  
ご主人様。

(中・近)

ああ…

おちんぼ、

おまんこの入り口に、  
ひっつけて、  
本当にするんですね。

嫌がるメイドの顔をオカズに  
自分の性欲のために  
人のまんこ好き勝手に使って、  
射精するんですね。

ほら入る、  
ほら入る。

ご主人様のちんぽなんて、  
一ミリも欲しくない、  
メイドの僕の、  
おまんこに、  
ご主人様のクソちんぽが、入るゝ

ん！  
ああゝ入った、入った。  
初めてのセックスですけど、  
あんまり痛くないですね。

それともご主人様の生ちんぽを  
入れられてるっていう、  
嫌悪感のほうか  
勝っているのかもしれませんが。

ほら、  
大金はたいて買った  
メイドのおまんこですよ？

好き勝手に、  
使ったらいじゃないですか。

ああ、  
ガッチガチに立てて、  
ちんぽ、まんこの中でゴシゴシ、  
ゴシゴシ、ゴシゴシ、ゴシゴシしてゝ

(XX・XX)

なんですか？ ちょっとは

エロい声でも、

上げてほしいですか？

上げませんよ。

僕はそんなもの、

出し入れされたって

全然気持ちよくないんですから。

ただ、

挿入されて

自分の体の中に、

不快感が広がるだけです。

(やや右・近)

(棒読みで自分の声を出す)

出し入れされて、

それできつさと射精して、

終わらないかなーって、

ご主人様に目線も合わせず、

ただ耐えてるだけなんですから。

早くそのレイプちゃんぽ、

射精して、

終わりにしてくださいよ。

ズボズボ、

ズボズボ、ズボズボ、ズボズボ。

いつもオナニーに使ってる

僕に嫌がらせしてくるキモちゃんぽ、

僕の体の中で、動き回って、

メスの穴をかき回してますけど、

僕はそんなんじゃ、

全然気持ちよくなれません。

僕は心は男の子なんですから、  
入れられるんじゃないかと、  
入れられるのがきつと、  
好きなんですから。

（やや右・近）

（強い口調で 射精を促す）

だからほら、

早く射精しろ、早く射精しろ。

メイドさんの僕のことをレイプして  
それで気持ちよくなれるんですから、  
早く射精しろ。

ん？

イク、イク、イク、イク、？

ほら、粘ってないで、

さっさと射精してください。

言っておきますけど、

外に出さないで、

許さないですからね。

（中・密着）

ああゝ

ぴゅっぴゅ、ぴゅっぴゅ、ぴゅっぴゅ。

外だししろって言ってるのに、

何で一番奥に、

ちんぽ付き入れて、

射精してるんですか。

（やや右・近）

ふう

気持ちよかったですか？

メイドのことを、

レイプした中出し射精、

気持ちよかったですか？

ええ、

僕はとっても気持ち悪かったです。

大嫌いなご主人様に抱かれて、セックス中に吐きそうでした。

でもご主人様は、

嫌がられるのが、

大好きなんですよね？

知ってますよ。

僕が嫌がってるのに、

ごんごんちんぽおつきくして、

気持ちよきそうに射精

出来たじゃないですか。

最低の人ですね。

ほら、じゃあ、

身なりを整えてきますから、

お金払ってくださいね。

さっさとご主人様と

お別れしたいんですから。

(中・近)

(メイド↓執事に)ご主人さまが抱かれる)

(声質は、男の子に変更)

ほらほらほらほら。

気持ちいいですか、気持ちいいですか、

元メイドの、元、女の僕に、

手術で作った、

おちんぽで抱かれて

気持ちいいですか。

ほら、ほら、

気持ちよくないわけじゃないですよね。

さっきからケツ穴に、

僕のペニスを入れられて、

気持ちよきそうに、

あんあんゝあんあんゝ喘いで、

情けなくメス声、

出しているじゃないですか。

ほら、ほら、ほら。

今日はもっと、

女の子でできるまで、

許しませんよ。

もっとケツ穴広げて、

僕専用の

オナホ便器になるまで、

許しませんよ。

ほら、ほら、ほらー！

（やや右・近）

ふふっ。

高値で僕を執事として雇って、

それでケツ穴掘らせてるご主人様。

本当に最低ですね。

でも、

メスだったときよりも、

今はご主人様のこと、

好きですよ。

だってほら、

毎日この僕のおちんぼの

トイレ代わりになってくれるんですから。

性処理の方法なんて  
わからなかったですけど、  
こうやってケツまんこに、  
性器を叩きつけて、

それでほら、  
僕のガツチガチになったペニスで、  
ご主人様のことを、  
ガン突きしながら、  
ほらほら、

ふふ  
ほらメス声、  
メス声、  
もっとメス声上げろ。

そのちっちゃくなった  
ゴミちゃんぽ、  
ぶるぶるさせられながら、  
僕に抱かれるの、  
好きなんでしょう？

ほら、  
僕のちゃんぽ、もっと締め付けて、  
ほら、  
もっとください、もっとください、  
もっとくださいって、  
自分が雇い入れた元メイドの  
僕のおちゃんぽに、  
ご奉仕してください？

(やや右・近)  
ふふっ。  
ご主人様？ 抱かれるたびに、  
おちゃんぽちっちゃくなっていますね。



体もなんだか、

丸くなってきていますし、

ご主人様は、

本当はメスになりたいんじゃないですか？

僕のおちんぽに負けて、

男の子やめたくなっちゃいましたか？

(中・近)

ほらほら、ほらほら、

もっと、もっと、もっとー。

ご主人様の情けない

子どもペニス見下ろしながら、

僕のガッチガチのかっこいい

男の子ペニスをほら、

ズボズボ、ズボズボ、ズボズボ。

(中・密着)

(ききやき声で)

ほら、

ここがいいんでしょう？

ここが。

男のこの前立腺、

男の子のスポット、

元メイドのおちんぽに、

かき回されて、

それでまた情けなくレイプされて

射精したいんでしょう？

ふいつ。

ほら、

ご主人様は、

僕の処女まんこも、

童貞おちんぽも、

両方使ったんですから。  
責任とって、

僕が一番気持ちよくなれる  
セックスして、  
ご奉仕してください？

（中・近）

ほら、ほら、ほら。

腰をへこへこ、へこへこ、  
へこへこ振りながら、

僕のおちんぽが、  
一番気持ちよくなれる

ちんぽの出し入れの仕方、  
してあげてますよ？

ご主人様の、

そのせまーいケツ穴に、  
ふふっ、

僕のおちんぽ、  
あぁ〜出し入れして、

とっても気持ちよくなってます、  
ふふっ。

まだちんぽ出来上がりたてで、  
そんなに使ってないのに、

もうセックスの味を覚えちゃって、  
このケツ穴以外では、

射精、  
なかなかできなくなりそうです。

ほら、

僕のちんぽ金玉持ちあがって、  
おなかの奥ビクビクして、  
精子が、

上がってくるのわかるでしょう？

ほら、

発射準備完了のサイン。

ケツ穴に送ってあげますから、  
射精された瞬間に。

ケツ穴締め付けて、

僕のザーメンおトイレに  
なってください。

（右・密着）

ほらいきますよ、

さーん。

ほらちんぼ、ちんぼ、ちんぼ。

ケツへこ早くして、

ご主人様に

射精をプレゼントする準備しますよ。

ほら、ほら、ほら。

（中・密着）

にーい。

ほーらご主人様のちんぼ、

さっきから勃起もできていない、

クリちんぼ。

ブラブラさせながら、

僕の中出し

楽しみに待っているの、

わかりますよ？

ふふっ。

オスのくせに

レイプされるのが大好きな変態め。

ほら、

僕にザーメンもらって、

女の子になっちゃえ。

（左・密着）

いーち。

ほら、出す、出す、出すぞ。

そんなエロビッチ顔になってる

ご主人様のこと、

ただのスケベなメス穴だと思って、

中出し、ほら、

中出し、中出しイク。

ほら、出る、出る、出る、出る！

オラ、

ゼロ、ゼロ、ゼロ！

オスご主人様のケツ穴まんに  
中出し射精。

ああゝ

出てる、出てる、出てる。

金玉ビクビクーってなって、

全身気持ちよくなって、

ご主人様のこと

便器代わりにして射精してる。

（右・密着）

ああゝ

出ちゃった、

ああゝ出ちゃった、出ちゃった。

（中・密着）

ほら、唇貸してください。

ほら、

きしゅ、きしゅ、きしゅ。

僕専用のおトイレ便器の

ご主人様にきしゅして、ふーっ。

（キスフェラ 8秒）

今日もたくさん

気持ちよくできましたのサイン、  
してあげますよ？

ふふっ。

(やや右・近)

ああ、

やっぱり男になるって、  
良いことですね。

これからはご主人様のこと、  
毎晩使いにきますから、  
覚悟してください？

ふふっ。

僕は心も体も

男の子なんですからねー  
ふふっ。

(右・密着)

僕の女になれるように、  
がんばってくださいね

(ゆっくり読む)

ご主人さまー